

亀田地区統合施設基本設計業務プロポーザル 第二次審査結果について

亀田地区統合施設の基本設計者を選考するにあたり、プロポーザルを行い、亀田地区統合施設基本設計業務プロポーザル審査委員会（以下「審査委員会」という。）において、厳正に審査を行った。

6月6日に行われた第一次審査において、書類審査により第一次審査通過提案者として5者を選考した。7月6日には第一次審査通過提案者によるプレゼンテーションおよび質疑を公開で行い、引き続き実施した第二次審査において、最優秀者および次点者を次のとおり選考したので、審査委員会として推薦する。

1 選考結果

最優秀者：株式会社かわしろ建築設計事務所

次点者：建築企画山内事務所・川嶋建築総合研究所・エーアンドエス金山建築設計
亀田地区統合施設基本設計業務委託共同企業体

2 最優秀者の選考理由

函館市では、行財政改革の推進および将来的にさらに進む人口減少を見据えた公共施設のあり方を検討するなかで、亀田地区における老朽・狭隘化した公共施設を統合し、子どもから高齢者まで幅広い世代がふれあう場や、文化・芸術、スポーツなど市民の様々な活躍の場とした、新たな拠点となる複合施設の整備を検討し、亀田地区における統合施設整備基本計画（以下「基本計画」という。）を策定した。

このたび選考された最優秀者は、基本計画の理念や諸条件を適切に理解し、統合される5つの施設の様々な機能をコンパクトにバランスよくまとめ上げた提案をしており、多様な要件をまとめる力と同時に新しい価値の創造に挑戦しようとする姿勢を高く評価し、選考したものである。

提案内容については、街を行き交う市民からもあるいは施設を利用している市民同士も相互に活動が見える環境を作ることにより、新たな交流の機会が生まれることが期待できる点、限られた空間の中でも拡張性や可変性の高いデザインで様々な利用方法に対応できる利便性の高い点、さらには災害時の対応について、他の提案者より細かな想定がされている点を評価した。

なお、基本設計を進めるにあたり、地域のコミュニティ施設の目指すべきモデルとなるよう期待する。

平成28年7月6日
亀田地区統合施設基本設計業務
プロポーザル審査委員会